
◆ 目次 ◆

- 1 齊藤純在モンリオール日本国総領事挨拶
- 2 7 月及び 8 月の休館日
- 3 領事窓口時間等について
- 4 領事だより
 - (1) 改正旅券法令の施行に伴う旅券手続きの変更点概要 (3 月 27 日から)
 - (2) 夏季休暇シーズンに旅行を予定されている皆様へ
 - (3) JAMSNET カナダからのお知らせ
- 5 広報・文化だより
- 6 当館管轄 5 州の政治
- 7 当館管轄 5 州の経済

* * * * *

1 齊藤純在モンリオール日本国総領事挨拶

皆さまこんにちは、

どうにも天候不順で、せっかくの夏をスカッと楽しめない日々が続いています…。世界各地から入ってくる猛暑のニュースを見るにつけ、モンリオールはまだマシな方だと考えるようにしているところです。そうはいっても街では festival 等真っ盛りで、自分の年齢も考えつつ、違和感なく楽しめそうなものに顔を出すなどしております。

モンリオールジャズフェスティバルでは昨年に続いていくつかの公演を堪能しましたが、なかでも上原ひろみさんは圧巻でした。先日当地で日本人天才バイオリニスト少女の演奏に接したとき同様、とても同じ人間とは思えませんでした。それもこれも才能に加えて大変な努力の賜物でしょうから、やればできる、とまではいかないものの、努力すればかなり遠くまでたどり着けるのだなあという学びがありました。だからといって、では何かに一念発起とはいかないところが我ながら少々情けないところです…。

6 月下旬にケベック州の祝日を祝う州首相主催のレセプションに参加するため、はるばるケベックシティまで行って参りました。天候に恵まれ、テントも張られて青々とした芝生が広がる庭園で、州の要人や各国総領事らとグラスを傾けて様々な話題を肴に談笑する機会を得て、日帰りの強行軍もそれほど苦になりませんでした。

7 月 1 日にはカナダデーのパレードに日本のグループの一員として参加させてもらい、初めて観る側ではなく観られる側に回り、なるほどこういうものなのか…とちょ

っとした感慨を覚えました。スピーチなどで大勢の人から注目されるのは仕事柄慣れていますが、結構原稿に目を落としていることが多く、聴衆の視線をあまり意識してこなかったのが、今回はもの凄く見られている感じがして少々恥ずかしかったです。年初に日本から持参した浴衣に初めて袖をとおし、生憎小雨がぱらつく中でしたが、手に持った折りたたみ傘もやせ我慢で使わずに最後まで胸を張って歩き通しました。慣れない雪駄で足に少々擦り傷ができたのがいい思い出になります。

この一ヶ月ほど、公邸内外で3回ほどレセプションを開催し、館員一同準備や当日は忙しかったですが、主賓のみならず列席者の皆さまが喜ぶ姿を目にして大いに報われました。公邸では天気次第で少々狭いですがテラスも活用し、多少の非日常感を味わっていただけたものと思っています。さすがに8月はひと息入れることにしており、ほとんどの工事が停止される *vacances de la construction* もあるので、文字どおり静かな公邸になりそうです。

夏休みに思いをはせつつ、行事のない週末を利用するなどして最近あちこちに出かけておりますが、とにかくフライトの遅延やキャンセルが多くて凹みます。往路のフライトがキャンセルになって振替便に乗らざるを得ず、楽しみにしていたイベントや会合に出られなかったり、遅れても最終的には飛んでくれるだろうと希望的に考えつつ夜遅くまで搭乗口で待たされたあげくの果てにキャンセルが宣言されて翌日の日程に支障が出るなど、航空機を利用した旅への恐怖心が芽生えてしまいました。そうはいつでも広い北米、飛行機なしではなにかと不便です。もはやコロナ禍だけが原因とも思えず、なんとかならないものか…と感じつつも、カナダ人に愚痴るのもちょっとなあと考えていたら、最近カナダ人の方からこのところのフライトの状況はひどいよね…と切り出されることが続き、航空会社不信に陥っているのは私だけではないのだ、とほんの少し慰められました。

飛行機やクルマで、私の耳には十分訛りが強いモンリオールっ子からも、「あの辺は訛りが強いから…」と言われるような地域にも出かけてきました。結構身構えて行ったのですが、ふたを開けてみると確かにこことは違う感じでしたが、基本的な意思疎通は問題なくできました。しかし、それなりの国際的観光地で、訛りではなく *déjeuner* と *dîner* といったフランスとは異なる基本的用語法で「ケベックあるある」な状況に陥るなど、相変わらず侮れません。

レストラン等でのチップのことを先月号で書きましたが、その後も様々な経験をしています。従来 15%からだった端末での表示が 18%からになっているのは日常茶飯事で、最高 30%まで表示されていることがあるのには感動すら覚えます。その一方、地方で地元の方々を中心に賑わっているファミレスというかダイナーに入ったら、なんと表示が 10%から始まってこれはこれで驚きました。そのお店では、席に通されたあと待てど暮らせど注文を取りに来てくれなかったり、3回お願いしてやっとお水のお代わ

りがもらえるなど、まさかこのレベルのサービスを前提にした 10%ではないでしょうが、自分の受けたサービスに応じた額を打ち込んだのは言うまでもありません。少々器が小さいでしょうか…。

今号の後ろの方にありますが、引き続き日本に関連した行事がいろいろと開催されます。

私も時間の許す限り顔を出そうと思っておりますが、在留邦人の皆さまにおかれても、ケベコワ達に日本の文化や習慣を知ってもらうべく、積極的に参加して交流を楽しんでいただけるとうれしいです。

2 7月及び8月の休館日

- 毎週土日

3 領事窓口時間等について

(1) 当館の開館時間

以下の URL をクリックするとご確認いただけます。手続きの内容によって時間が異なりますので、ご注意ください。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/office.html#section3

(2) 一部の取り扱いにおける予約制

(i) 対象となる取り扱い

- ・在留証明の申請
- ・署名証明の申請
- ・警察証明の申請
- ・戸籍国籍関係の届出

(ii) 予約方法

当館領事班に、Eメールまたは電話でご連絡をお願いします。

【Eメールアドレス】 consul@mt.mofa.go.jp

【電話番号】 514-866-3429

4 領事だより

(1) 改正旅券法令の施行に伴う旅券手続きの変更点概要 (3月27日から)

●オンライン申請の開始

- (i) 2023年3月27日から、旅券の発給申請手続きがオンライン化されています。

(ii) オンライン申請の場合、

・戸籍謄本提出の省略が認められる切替申請は、申請時に在外公館の窓口へ出向く必要がありません（旅券の受け取りは、これまで通り窓口での対応となります。受け取る際は、必ず前回の旅券をお持ちください）。

・新規申請の場合や、現在お持ちの旅券面の記載事項を変更する場合は、戸籍謄本の提出が必要になります。窓口での提出、または、書留郵便やそれに準ずるものであれば郵送で提出することもできます。

(iii) 日本国外居住者の皆様は、オンライン在留届（ORR ネット）で在留届を提出した上で、在留邦人用旅券申請スマホアプリを通じてオンライン申請が可能となります。

(iv) オンライン申請は、アプリの画面上の案内にしたがって実施していただくこととなります。

(v) 紙で申請されるか、オンラインで申請されるかは、申請者の皆様にお選びいただけます。したがってこれまでどおり、紙の旅券申請書に必要事項を記入し、当館窓口に来館してご申請になる方法も引き続き可能です。

【外務省ウェブサイト】

https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/page22_004039.html

●申請手続きの変更【今一度確認ください！】

(i) 戸籍謄本について

新しく旅券を申請する場合や、旅券面の記載事項に変更がある場合は、戸籍抄本ではなく、戸籍謄本をご用意ください。3月27日以降、戸籍抄本での申請はできなくなりました。

(ii) 査証欄（ビザページ）が残り少なくなった場合

旅券の査証欄を追加する増補制度が廃止されました。旅券の査証欄が残り少なくなりましたら、新しい旅券を申請してください。

(iii) 新しい旅券の速やかな受け取りについて

新しい旅券が発行され、6か月以内に受け取られない場合、新しい旅券は失効します。失効後5年以内に次の旅券を申請する際は、手数料の額が通常よりも高くなります

（※2023年3月27日以降に申請された旅券が6か月以内に受け取られずに失効した場合に適用されます）。

(iv) 申請書の様式変更について

オンライン申請ではなく、紙の申請書を使い窓口で申請される場合、2023年3月27日から、旅券発給等のための申請書の様式が変更されています。同日以降の申請では、古い様式の申請書では受付できません。ご自宅で印刷可能な新様式のダウンロード申請書は以下のウェブサイトからご利用いただけます。

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/download/top.html>

(2) 夏季休暇シーズンに旅行を予定されている皆様へ

夏季休暇シーズンには、カナダ国内外を問わず旅行される方が増えます。ご旅行の前に今一度、以下をご参考にしていただき、安全で楽しい滞在、休暇をお過ごしください。

また、在留邦人のご親族、ご友人がカナダを訪問される際には、その方々にも事前にお伝えいただければ幸いです。

●ご旅行前にパスポートの残存有効期限をご確認ください

旅券の切り替え（更新）は残り1年未満になった日から可能です。

●渡航先でパスポートを紛失又は盗難にあった場合

まず、最寄りの警察署で紛失（又は盗難）届を提出してください。その他必要書類や手続きについては滞在地を管轄している日本国大使館・総領事館にお問い合わせください。

●海外旅行傷害保険に加入する

海外旅行の際には海外旅行傷害保険に加入されることを強くお勧めします。思いがけず旅行中に体調を崩したり、けがをしたりした場合、日本国外では入院・治療費が高額となるケースが多いです。旅行先で深刻な症状となり、日本への医療搬送を希望したくても支払いに問題が発生したり、保険加入有無の確認に時間を費やしたりする可能性もあります。クレジットカード付帯の保険は事前に適用条件や補償額をご確認ください。

●たびレジに登録する

海外渡航や在留の際に緊急事態が発生した場合、外務省または在外公館から随時情報を提供いたします。在留届の提出義務のない3か月未満の短期渡航者の方（旅行者や出張者）向けに、緊急時に情報提供を受けられる海外旅行登録システム「たびレジ」があります。旅行出発前にぜひご登録ください。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

(3) JAMSNET カナダからのお知らせ

【認知症サポーターネットワーク（チームオレンジ）のハイブリッドワークショップ】

カナダ連邦政府（Public Health Agency of Canada: PHAC）の Dementia Strategic Fund を受けた厚生労働省の認知症プログラムの一環として、認知症に関する基礎知識、予防、認知症の方と介護者が住みやすい社会環境（dementia inclusivity）などに関する講演会を行います。

●日時：8月6日（日）

大人（英語）：9:30 AM- 11:00AM

子供用紙芝居（日本語）・おやつ：11:00 AM-12:00 PM

大人（日本語）：12:00PM - 13:30PM

●場所：JCCCM モントリオール日系文化会館 Labrecque Hall

●ZOOM 参加：https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZ1tc-6spz8pHNxGjpl0U14IFrWv_qjMn9ap

Meeting ID：860 4749 4368

●Facebook（イベントのポスターはこちらからご覧になれます）：

<https://www.facebook.com/NAJCJNIC>

5 広報・文化だより

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様ご自身が実施される日本関連行事のほか、知り合いの方についての情報を（culture@mt.mofa.go.jp）までお知らせください。毎月10日までに原稿をいただければ同月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

（1）当館は、以下の SNS 公式アカウントを開設しています。日本や当館の活動に関する情報を随時発信しています。

●フェイスブック

<https://www.facebook.com/JapanConsMontreal>

●ツイッター

<https://twitter.com/JaponMontreal>

●YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UC5Fc52skP5w8otfowcN30ag>

（2）第4回国際裁判機関等インターンシップ支援事業のお知らせ

<https://intern-support.jp/>

（3）2024年度日本万国博覧会記念基金助成事業（募集）のお知らせ

<http://www.osaka21.or.jp/jecfund/english/information/>

（4）広島平和記念式典

広島市と姉妹都市であるモントリオール市は、毎年、広島に原子爆弾が投下された8月6日（日本時間）にあわせ、モントリオール市立植物園日本庭園で広島平和記念式典を開催しています。式典に参加御希望の方は、18時以降、植物園正面入口または昆虫館側の入口（4581 rue Sherbrooke Est）で「広島平和記念式典に来ました」と言っていたら無料で入園・式典参加が可能です。

日時：8月5日（土）19時

場所：モントリオール市立植物園日本庭園

4101 rue Sherbrooke Est, Montreal
問合せ先 : 514-872-0607

(5) 巡回展「現代・木彫・根付」

和装文化が興隆した江戸時代に、印籠や煙草入れの留め具として使用された根付。現代根付師が制作した木彫の根付を中心に、「現代・木彫・根付」の「現在（いま）と未来（これから）」を紹介します。国際交流基金との共催、入場無料です。

期間 : 8月5日（土）～9月2日（土）（水・木・金・土曜のみ）

場所 : L'Artotheque

5720 Saint-Andre, Montreal

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/Netsuke_Poster.jpg

(6) オタクソン 2023

日本のアニメ、マンガ、ビデオゲーム、ポップカルチャー等に関するコンベンションです。期間中、当館もブース出展します。また、日本の伝統文化紹介イベント、日本の観光に関する講演等も開催予定です。（参加にはオタクソンへの入場料の支払いが必要です。）

日時 : 8月11日（金）～13日（日）

場所 : Palais des congres de Montreal

201 Viger Ave., Ouest, Montreal

<https://www.otakuthon.com/2023/home/>

(7) 夏フェス

各種屋台が出店し、日本の夏祭りの雰囲気を楽しむことができます。当館もブースを出展します。

日時 : 8月19日（土）11時～19時

場所 : モントリオール日系文化会館

8155 rue Rousselot, Montreal

<https://www.facebook.com/events/3178533579106911>

(8) 日本関連行事等のお知らせ

* 以下の日本関連行事は、必ずしも当館が共催、後援、保証している行事ではありません。また、同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については、各主催団体へ直接お問い合わせください。

* 外部のサイトへのリンクは、あくまでも皆様へのご参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては、当館は一切責任を負いませんのでご了承ください。

●1001 Pots

今年で34回目を迎える「1001 Pots」で、石川金矢氏、間由加里氏、マキコ・イシェール・ナカムラ氏等、当地在住陶芸家の作品も展示・即売されます。

期間 : 7月7日（金）～8月20日（日）

場所 : 2435 Rue de l' Eglise, Val-David

<https://1001pots.com/>

●ファンタジア国際映画祭

日本映画も多数上映されます。

期間：7月20日（木）～8月9日（水）

<https://fantasiafestival.com/en/>

●ケベック日本友好協会第3回桜祭り（ケベック市）

ラーメンについての講演、嵐太鼓の演奏、浴衣を着ての阿波踊り大会、コスプレ等、また書道、墨絵、折り紙、茶道のデモンストレーション、ファナマンガの出店などが行われます。

日時：7月30日（日）12時～15時30分

場所：Domaine Maizerets 内の Maison Maizerets

2000 Bd Montmorency, Quebec, QC G1J 5E7

<https://www.domainemaizerets.com/visiter-le-domaine/secteur-historique/maison-maizeret>

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.facebook.com/associationdamiciequebecJapon>

コスプレ、売店、ボランティアを募集しています。

問合せ先：ゴーバン雅美氏 quebecjapon2018@gmail.com

●抹茶と和菓子（最中）づくりのワークショップ

日時：8月12日（土）12時、14時（各60分）

場所：Sumi Dojo

3479 Boulevard Saint-Laurent, Montreal

<https://fb.me/e/UOVm2314>

●MUTEK Festival

電子音楽・デジタルアートの祭典です。日本からもアーティストが多数出演します。

期間：8月22日（火）～27日（日）

場所：市内各所

<https://montreal.mutek.org/>

●モントリオール子どもクラブ

モントリオール子どもクラブは、日系親子の集うプレイグループです。参加をご希望の方は以下のメールアドレスにご連絡ください。

日時：8月毎週金曜日 11時～15時

場所：モントリオール日系文化会館や市内の公園等（メールやSNSにてご確認ください）

参加費：1ドル

連絡先：info.mtlkodomoclub@gmail.com

FB アカウント：<https://www.facebook.com/profile.php?id=100090537858737>

IG アカウント：https://www.instagram.com/kodomoclub_montreal/

●ランゲージ・エクステンジ（仏語－日本語）

ラヴァル大学院生が主催するオンライン・ランゲージ・エクステンジが、毎週土曜日朝 8 時（カナダ東部時間）から開催されています。

<https://www.meetup.com/en-AU/canasian-station/>

問い合わせ先：Pascal Paradis 氏（pascal.paradis.2@ulaval.ca）

●国際交流基金トロント日本文化センター

日本語教師向けにワークショップや情報交換会（オンライン）が随時開催されています。

<https://jftor.org/language/teachers/>

E-library で日本の本、マンガや雑誌などを読むことができます。

<https://jf.overdrive.com/>

その他、様々なオンライン・イベントが随時開催されています。詳細はこちらからご確認ください。

<https://jftor.org/>

6 当館管轄 5 州の政治

(1) ケベック (QC) 州

・6月1日、ジョラン＝バレット州法務大臣は、消費者の買い替えを促すために製品の寿命を意図的に制限する「計画的陳腐化」を禁止する法案を州議会に提出。可決されれば業者は修理部品やサービスを適正価格で提供すること、製品は一般的な工具で修理可能であること等が義務付けられ、陳腐化するよう設計された製品の販売が禁止される。

・6月1日、州議会は、14歳未満の若者の就労を制限する法案を全会一致で可決。14～16歳については、祝祭日を除く学期中は週17時間を超える就労が禁止される。

・6月2日、森林火災のため、セティル（Sept-Îles, Côte-Nord 地域）で6000人以上が避難。6日、避難指示が解除される。

・6月2日、森林火災のため、ルベル＝シュル＝ケヴィヨン（Lebel-sur-Quévillon, Nord-du-Québec 地域南部）でも2000人を超える人々が避難。18日にいったん避難指示が解除されるも、22日に再度避難指示が発出される。（7月1日、避難指示は再び解除。）

・6月6日、森林火災のため、シブガモ（Chibougamau, Nord-du-Québec 地域）で7500人が避難。12日、避難指示が解除される。

・6月6日、州議会は、議員給与の30%引き上げ（基本給101561加ドルから131766加ドルに）を認める法案を過半数で可決。与党ケベック未来連合（CAQ）と自由党は賛成、ケベック連帯（QS）とケベック党（PQ）は反対。

・6月6日、コート＝サン＝リュック（Côte Saint-Luc）を含む州内約20自治体は、州法96号の特定の条項について異議申し立てを行う計画。

・6月7日、州議会は、医師介助による死へのアクセス拡大と事前要請を可能にする、

終末期医療法改正案を賛成多数で可決。これにより対象が重度の身体障害を持つ人にも拡大され、アルツハイマー病と診断された人は事前要請できるようになる。また葬儀場等、病院以外でも実施可能となる。

・6月9日、モンリオール警察 (SPVM) が発表した年次報告書によると、2022年の対人犯罪は過去5年平均比で21.6%増加し、配偶者暴力が対人犯罪の4分の1を占めた。銃犯罪は2017年に37件だったのが2022年に128件に増加。

・6月13日、カナダ・イスラム教徒全国評議会 (NCCM) とカナダ自由人権協会 (CCLA) は共同で、州政府による公立学校における祈禱室設置禁止令に異議申立を行い、判決が下されるまで同法令の適用停止を求める。14日、州上級裁判所は、同法令の適用停止申請は却下。

・6月19日、森林火災消火のため州内で活動中の消防士の数は、州・国外からの応援も含め火災発生当初の800人から1500人に増員される。

・6月19日、連邦補欠選挙実施の結果、ガルノー元議員（自由党）が引退したNDG・ウエストマウント選挙区では自由党候補のゲイニー (Anna Gainey) 氏が当選。

(2) 大西洋諸州

・6月12日、大西洋4州首相は、5月より施行されている大西洋州共通の医師登録制度を他の医療従事者にも拡大することを希望。大西洋州全域で働くことを容易にする同制度には現状87人の医師が登録済みとのこと。

(3) ニューファンドランド・ラブラドール (NL) 州

・6月2日、州政府は、特定の7ヶ国で看護師資格を取得した人の州看護師登録について、現在1年以上かかるところ4週間に短縮すると発表。オズボーン州保健大臣はまた、200~300人のインド人看護師が今年中に州で勤務を開始すると発表。

・6月14日、小規模内閣改造実施。1人増えて17人となる。舌癌であると発表したブラグ漁業大臣は治療中、ポートフォリオを持たない大臣として政府に助言を行う。

・6月23日、22日に残骸が見つかった小型潜水艇の死亡事故について、加米関係各機関が調査を開始。セント・ジョンズから南東約700kmの海底約3800mに沈むタイタニック号を見に行く観光客向け小型潜水艇は19日から行方不明となっていた。

(4) プリンスエドワードアイランド (PEI) 州

・6月10日、州政府は、特定の7ヶ国で看護師資格を取得した人の州看護師登録について、現在1年以上かかるところを2週間に短縮すると発表。

・6月14日、2021年のアブデルアジズ PEI 大学学長辞任を受けて第三者が行った調査の結果が発表される。前学長に向けられていた2013年のセクハラ疑惑を含む数件については、大学が被害者と秘密保持契約を結んでいるため調査には含まれず。報告書は大学の職場環境について、いじめ、ハラスメント、人種差別が蔓延し組織レベルで容認されていると厳しく指摘。21日、州議会は、PEI 大学を含む全ての高等教育機関を

州オンブズマンの管轄下とする法案、ならびに、PEI 大学が上記報告書で挙げられた問題に対する改善措置を講じない場合州の財政支援を制限する動議を、全会一致で可決。

- ・6月17日、ビーヴァン＝ベイカー緑の党党首が辞任を発表。議員は存続。同党は4月の総選挙で議席を8から2に落とし、第2野党に転落していた。

- ・6月22日、州副総督邸敷地内で、集合写真撮影、結婚式、ピクニック等含む集会被禁される。最近、一部団体のマナーの悪さが手に負えない状況になったことが理由。見学は引き続き可能。

(5) ノバスコシア (NS) 州

- ・6月4日、州政府は、州が使用するファイル転送ソフト MOVEit の世界的なサイバーセキュリティ問題の影響で、一部州民の個人情報が流出したと発表。6日、州政府は、10万人の州職員、医療機関職員の個人情報が盗まれたと発表。14日、州政府は、さらに、学校関係機関職員 13000 人の個人情報、クイーンズ自治体の水道料金や税金の請求書のアカウント約 17500 件分、ハリファックス水道 25000 人の顧客情報等も影響を受けたと発表。

- ・6月9日、州南西部シェルバーンの避難指示が全面解除される。州史上最大規模の森林火災は 23,525 ヘクタールに及び、150 の建造物を破壊、6000 人が避難を余儀なくされた。

- ・6月13日、州政府は、州内の森林火災は全て鎮圧されたと発表。

- ・6月14日、ハリファックス地域自治体 (HRM) の森林火災の影響が残っていた最後の区域で避難指示が解除される。

- ・6月19日、ハリファックス地域の学校支援員 1800 人は最新の契約案を批准し、5週間続いたストライキが終了。ストライキの間、障害を持つ生徒や就学前教育プログラムの児童数千人が通学できず。

(6) ニューブランズウィック (NB) 州

- ・6月7日、州政府は、州副総督職はバイリンガルでなければいけないとの州上級裁判所の 2022 年の判決を控訴。

- ・6月8日、ホーガン州教育大臣が公立学校における性的マイノリティ保護のための指針「ポリシー713」の変更点が7月1日から適用されると発表したことを受け、与党進歩保守党 (PC) 内で6人の閣僚を含む8人が抗議のため州議会を一時退席。変更された3点の中で最も問題となっているのが、16歳未満のトランスジェンダーやノンバイナリーの生徒が学校で本人の希望する名前と代名詞で呼んでもらうために保護者の同意が必要となった点 (学校の正式な事務書類で使用する名前の変更については、2020年の同指針導入当初から保護者の同意が必要)。変更反対派は、子供は必ずしも LGBTQ に理解のある保護者を持っているわけではないと主張。

- ・6月13日、州政府は、連邦国境サービス庁 (CBSA) に対し、事務手続き上の理由で拘束

された非正規移民を州刑務所に収容するのを止めると通告。刑事責任を問われていない外国人の刑務所収容については人権侵害が指摘されており、これで7州がCBSAとの協定を解消。

・6月15日、州議会で、野党自由党が提出した「ポリシー713」の変更撤回を求める動議（法的拘束力なし）は、閣僚を含む6PC議員の造反により可決される。

・6月15日、シェパード州社会的発展大臣が辞任。23日、ベテランのホルダー州高等教育・訓練・労働大臣も辞任。両氏ともヒッグス州首相の政権運営スタイル全般を批判。

・6月16日、ホーガン州教育大臣は、教育法改正案をいったん凍結すると発表。可決されれば英語系地区教育委員会(DEC)に決定権がなくなり大臣の権限が大きくなると批判されていた。

・6月19日、州議会は、臓器・組織提供拒否を明示的に表明しない19歳以上の州民（例外あり）は自動的にドナーとみなすとする、野党自由党が提出したHuman Tissue Gift Act 修正案を全会一致で可決。みなし同意を採用するNS州に続き、国内で2番目の州となる。

・6月27日、内閣改造実施。「ポリシー713」動議で野党自由党と一緒に投票したアラン氏とカー氏は閣僚落ち。「ポリシー713」変更反対するも自由党動議の採決に欠席したグリーン氏とダン氏は留任。

・6月29日、PC党本部は、党首信任投票実施を求める26支部長が署名した手紙等を受理。ヒッグス党首解任に向けた長い党内プロセスが正式に開始。

7 当館管轄5州の経済

(1) QC州

・6月7日、ケベック投資公社(IQ)は、2022年度は経済状況の変動と悪化の影響により、2.24億加ドルの損失と収益率マイナス4.8%を記録。

・6月7日、トタルエナジーズ、自動車大手ステランティス、メルセデスベンツによる仏合弁企業Automotive Cells Company(ACC)は、ミラベルでのバッテリー製造工場建設を目指しIQに接触したとの報道。

・6月12日、リオティントは、14億加ドルを支出し、低炭素技術AP60を備えたサグネのアルミニウム製錬所を拡張し合計96基のAP60炉を建設する。州政府も雇用維持を条件とした返済免除融資として1.5億加ドルを支出する。

・6月16日、豚肉加工大手オリメルのドラモンヴィル工場組合員500人は調停勧告を批准し、5月25日から続いていたストライキが終了。

・6月17日、フィッツギボン州経済・イノベーション・エネルギー大臣は、ブラジル資源大手ヴァーレがベカンクールに建設予定の硫酸ニッケル生産工場のため、州は5500万加ドルを融資すると発言。ヴァーレはラブラドルにニッケル鉱山を保有。テスラに供給しており、ベカンクールにバッテリー材料工場を建設予定のGMとも供給契約を締結済み。

・6月17日、北米初の水素列車「Coradia iLint」がシャルルボア鉄道で夏季限定の試験運行開始。列車は120人乗りのアルストム製で、州企業 Harnois Energies がグリーン水素補給を行う。

・6月19日、モントリオールのポリテクニクは、家電製品寿命の改善や電子廃棄物が環境に与える影響軽減を研究開発する、新たなユネスコ機関 EleVes が同校に開設されると発表。

・6月19日、州政府は、食料自給率向上のために計上していた1.75億加ドルの予算について、食品加工の自動化とロボット化に1億加ドル、果物・野菜生産者に4500万加ドル、温室生産者に3000万加ドルを支出すると発表。ルゴー政権は、2020年から2025年にかけて温室生産を倍増させるという目標について、既に85%増を達成済みとのこと。

・6月19日、連邦政府は、航空業界の脱炭素化支援のため3.5億加ドルを支出し、企業の共同研究開発支援を行うコンソーシアム「持続可能な航空技術イニシアチブ (INSAT (仏 INTAD))」を設立すると発表。コンソーシアムを率いるのはプラット&ウィットニー・カナダ (本社ロングイユ)。

・6月20日、エアバスはパリ航空ショーで、豪カンタス航空からA220型機9機を含む2件の新規受注を発表。A220型機はミラベル工場で製造される。

・6月21日、ケベック市地域交通局 RTC は、バスの車庫の天井に設置された充電器から充電可能な電気バスを北米で初めて試験運行すると発表。充電器は日立エナジー製。

(2) 大西洋諸州

・6月12日、ウエストジェットは、子会社の格安航空 Swoop をメインブランドに統合するため、カナダ全土で10月に運航を終了すると発表。

(3) NL 州

・6月22日、ポーター航空は、9月にセント・ジョンズ・トロント便を就航すると発表。毎日1便運航予定。

(4) PEI 州

・6月19日、Northumberland Ferries は、NS州とPEI州を結ぶフェリーが7月中旬まで欠航になると発表。「技術的な問題」で運航停止中のMV Confederation は新たな部品を必要とし、2隻目のMV Saaremaa 1はQC州で整備中。

(5) NS 州

・6月15日、大西洋州をつなぐグリーン電力網構想「アトランティックループ」実現のため、連邦政府は、NB・NS両州政府に対して、QC・NB両州間及びNB・NS両州間の送電線建設・アップグレード費用総額68億加ドルのうち45億加ドルを支出すると提

案。19日、ヒューストン州首相は、連邦政府の支出とは融資のことであり、NS州民が他州のインフラ費用のローンを支払うことに興味はない、引き続き州独自の解決策を探っていく旨発言。

(6) NB州

・6月7日、アーヴィングオイル（本社セントジョン）は、会社の売却を含む企業戦略見直しを始めると発表。同社はカナダ最大の製油所をセントジョンに保有し州最大の雇用主の一つ。他に国内外に1000以上のガソリンスタンドチェーン、アイルランドの製油所等も保有。

・6月15日、州政府は、チェコ共和国産業・貿易省と、エネルギー革新やその他経済活動における二国間協力覚書を締結。

[在モントリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから、当館に在留届を提出されている方と、当館メールマガジン読者登録をされている方に向けて送信されています。本メールあてに直接返信なされないようお願いいたします。本メールマガジンに関するご意見・ご要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。

emagazine@mt.mofa.go.jp

○メールマガジン読者登録をされている方で、配信中止・配信先変更を希望される方は、「配信中止（又は登録解除）」、「配信先変更」を希望する旨明記の上、emagazine@mt.mofa.go.jp までご連絡ください。登録完了後に確認のメールが届きます。

ただし、在モントリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらをご利用ください。

○メールマガジンのバックナンバーは、以下のURLをクリックすると閲覧いただけます。
https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html

○参考ホームページ

首相官邸ホームページ（www.kantei.go.jp）

外務省ホームページ（www.mofa.go.jp/mofaj/）

在カナダ日本国大使館ホームページ（www.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html）

当館ホームページ（https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html）

当館 Facebook（www.facebook.com/JapanConsMontreal）

当館 Twitter : @JaponMontreal <https://twitter.com/JaponMontreal>

○発行：在モンリオール日本国総領事館

Consulate General of Japan in Montreal

1 Place Ville Marie, Suite 3333, Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当
(emagazine@mt.mofa.go.jp) までご相談ください。

■-----■